

地域共通診察券の発行ブース登場

久御山町
役場

医療機関以外での設置は府内初

久御山町役場1階ロビーで1日、1枚の診察券で、提携している医療機関の診察が受けられる地域共通診察券(すこやか安心カード)の無料発行が始まった。

現在では3市1町(京都市、宇治市、城陽市、久御山町)の医療機関で対応が広がっている。医療機関以外で発行ブースが設置されるのは府内で初めて。

地域共通診察券は、発行したカードに受診歴や投薬歴などの患者

情報をデータ蓄積することができ、手続きをすると1枚のカードで提携している複数の医療機関を受診することが可能になる。

同町では、久御山南病院など。近隣市では、宇治徳洲会病院、第二岡本総合病院、独立行政法人国立病院機構京都医療センター・伏見区などが共通診察券に対応。その他にも提携先があり、詳しくは窓口で紹介している。

NPO法人「日本サ

ステイナブル・コミュニケーション・センター」(SCCJ)が総務省の委託で実証実験として実施し、発行ブースでもスタッフが常駐している。

現在、府内で53ヶ所の医療機関が対応しており、SCCJスタッフによると提携先は「今後もどんどん増えていくと思われる」という。発行にかかる時間は早くて2、3分。遅くても10分前後という。保険証を持って窓

口に相談すれば良い。スタッフは土日祝以外の午前9時から午後5

時まで、原則1人が常駐している。

【池田和司】



久御山町役場1階に登場した地域共通診察券の発行ブース